

# 小林正枝ヴァイオリンリサイタル

*Masae Kobayashi Violin Recital*

2013年11月26日 | 火 | 19時開演 | 王子ホール

*Tuesday, November 26th 2013 7:00pm at Oji Hall*

## Program

R.シューマン | ヴァイオリンソナタ 第1番 イ短調 作品105

*Robert Schumann : Sonate für Violine und Klavier Nr.1 a-moll Op.105*

J.ブラームス | ヴァイオリンソナタ 第1番 ト長調 作品78「雨の歌」

*Johannes Brahms : Sonate für Violine und Klavier Nr.1 G-dur Op.78*

武満徹 | 十一月の霧と菊の彼方から

*Toru Takemitsu : From far beyond Chrysanthemums and November Fog*

R.シュトラウス | ヴァイオリンソナタ 変ホ長調 作品18

*Richard Strauss : Sonate für Violine und Klavier Es-dur Op.18*



ピアノ | 中川賢一

*Ken'ichi Nakagawa, Piano*

## Ticket

全自由席 | ¥3,500

王子ホールチケットセンター | 03-3567-9990

イープラス | <http://eplus.jp/>

CNプレイガイド | 0570-08-9990

東京文化会館チケットサービス | 03-5685-0650

コンサートマネジメント | ミリオンコンサート協会 03-3501-5638





# 小林正枝ヴァイオリンリサイタル

Masae Kobayashi Violin Recital

## いつもきちんと眺めている人

音楽ジャーナリスト 渡辺和

ベルリンで話をする小林正枝は、いつもなにか考えごとをしているように見える。カフェで坐って昨日のオペラの演出の話をしていても、中華料理屋でこの街のコインランドリー事情を話していても、どこか遠くを見ながら、そうですね、でも、それだけじゃなくてね…って思案しているような。自分のことを語るときも、それほど饒舌ではない。音楽だって、筆者が知る限りにおいては、ピアニストを押しつけ自分のことばかり喋るのではなく、相手をしっかり聴き、この人は何を考えているのか見据えながら、きっちり音を置いていく。慎重、というのとはちよつと違う。判らないとやらない、ってことかしら。そんな小林が、311直後に石巻の避難所に演奏に行ったと聞き、ビックリしたものだ。猪突猛進な独善性から最も遠くにいる人が、音楽家を受け入れるのが困難な状況を百も承知で、敢えて音楽をしに行ったのだから。どんな事情があったか知らぬ。が、余程考えてのことだったに違いない。本日の共演者で、自身も仙台で震災を体験した中川賢一と共に、小林はそこでもいつものようにじっくりと周囲を眺めてきたのだろう。それがどんな風に音楽になるのか、筆者には判らない。でも、「私がベルリンで勉強してきたブラームス、それから、やっぱり日本の現代作品…」と演目を思案している小林の目には、いろいろな風景や、いろいろな人々が映ってきた筈だ。それがどんな音になるのかしら。

## ヴァイオリン | 小林正枝

Masae Kobayashi, Violin



東京生まれ。5歳の時、辰巳明子氏のもとでヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科を経て桐朋学園大学卒業。ベルリン芸術大学ディプロム課程、演奏家課程をいずれも最優秀の成績で修了。ドイツ国家演奏家資格取得。

第12回日本クラシック音楽コンクール全国大

会にて審査員特別賞。2003年ロベルト・カネッティ国際ヴァイオリンコンクール(ポルトガル)にて現代作品最優秀演奏賞受賞。2005年ミケランジェロ・アバド国際ヴァイオリンコンクール(イタリア)2位(1位なし)。2010年ロドルフォ・リピツァー賞国際ヴァイオリンコンクール(イタリア)4位。併せてモーツァルト賞、ソナタ賞、現代作品賞受賞。

これまでソリストとしてチェコフィルハーモニー室内管弦楽団、ザルツブルク室内管弦楽団、クラクフ室内管弦楽団、ノイエ・シンフォニーオーケストラ・ベルリンと協演する。ベルリン、ポツダム初めドイツ各地、及びイタリア、チェコ、スイスなどヨーロッパ各地でソロ、室内楽、オーケストラコンサートに出演。また九州国立博物館、石巻市立病院などのアウトリーチコンサートにも積極的に出演している。

辰巳明子、森川ちひろ、ウヴェ＝マルティン・ハイベルクの各氏に師事。その他、学内特別レッスン及び各地の国際アカデミーにてジェラール・プーレ、サシコ・ガブリロフ、ザハール・ブロン、ミハエラ・マルティン、フィリップ・グラファン諸氏に、室内楽をパスカル・ドヴァイヨン、フランソワ・ギューイエ両氏に指導を受ける。ベルリン在住。

小林正枝コンサート案内ブログ

<http://maviolin.exblog.jp/>

## ピアノ | 中川賢一

Ken'ichi Nakagawa, Piano

桐朋学園大学でピアノと指揮を学び、ベルギーのアントワープ音楽院ピアノ科首席修了。在学中にフォルテピアノ、チェンバロも習得。97年オランダのガウデアムス国際現代音楽コンクール第3位。98年帰国後は、ソロ、室内楽、指揮などで幅広く活動。NHK-FM出演、新作初演多数。01年度宮城県芸術選奨新人賞受賞。現代音楽アンサンブル「アンサンブル・ノマド」のピアニスト、指揮者。夏木マリの「印象派」シリーズ連続出演や、故・頼近美津子、伊藤ひろ子、平野文等との朗読と音楽、タップダンサーの熊谷和徳との共演など、他分野とのコラボレーションも活発。「Just Composed in Yokohama」、「超難解音楽祭」(仙台)の音楽監督・プロデュースなども行った。サントリーサマーフェスティバル、東京の夏音楽祭、武生国際音楽祭に数多く出演。指揮では、東京室内歌劇場、東京フィル、広響、他と共演。また、ピアノ演奏とトークを交えたアナリーゼ等を展開。お茶の水女子大学、桐朋学園大学非常勤講師。

中川賢一ツイッター

[https://twitter.com/ken\\_ichi\\_n](https://twitter.com/ken_ichi_n)